

最優秀賞

山口 愛実さん

三重県立久居農林
高等学校 3年生



私の通う三重県立久居農林高等学校は県庁所在地である津市にあり、少し離れるとどのかな田園風景や里山など、昔なつかしい景色を感じとることができる。西部にはかつて観光地として栄えていた榊原地区が存在し、この地区にもっと多くの方に来て魅力を知ってほしいと思い、私たちが何かできないかと考えてみた。

榊原地区には恋のパワースポットでもある射山神社や湯ノ瀬橋など、全世代で楽しめる場所が多く、さらに清少納言の枕草子にも詠われている名湯「榊原温泉」があり、三重県の代表的な観光スポットだ。

実際にこの地区を散策することで、「観光客を呼び戻したい」といった声、さらに地元企業で作られたお土産は1つしかないことを知り、昔からこの地区で生産されていた古代米に着目してみることにした。初めて見た古代米の水田は普段見ている景色とは全く違い、濃い赤色に輝く稲穂を間近で感じ取ることができた。

地元洋菓子店に相談し、お土産として考えるなら日持ちするものがよい、焼菓子は老若男女関わらず人気があるなど教えていただいた。さらに、榊原地区、津市役所そして久居農林高等学校で連携協定を結び、地元洋菓子店も入り、産学官・地域連携で動いていくこととなった。

お土産をシリーズ化したいと思い名前を“古代からの贈り物”とした。津市長を表敬訪問し古代米の焼菓子を試食していただいた。メディアも多数来て、私たちの活動がたくさんの方に周知されたと思う。さらにレシピを提供し地元のおじいちゃんおばあちゃんが製作することで人員の雇用、地域のイバシヨ作りにもなる。

持続可能な開発目標、いわゆるSDGsの「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任つかう責任」「パートナーシップで目標を達成しよう」、これらのゴールを目標に取り組んでいきたい。民間企業は地域の活性化に貢献する中での宣伝効果が見込まれ、地方自治体は新たな産業や雇用の創出といったメリットがある。私たちは地域の方々と接することで地元への愛を育むことができる。また、いろいろな立場の人と関わることで進路選択の参考にもなり知見を広げることができる。

“人を愛し、地域を愛し、日本を愛したい”私の大切にしている言葉。これからも地元で生産された食材を使いお土産として販売し観光客を増やしたい、より良い町作りをしていきたい、さらに松村先生の動画にあるイバシヨ作りを大事に過疎化しつつある地元の復活に貢献したいと考える。